

産学官連携戦略展開事業「知的財産活動基盤強化」 (文部科学省補助事業) による久留米大学知財活動基盤の強化・活性化

1) 知的財産本部の現状

過去五年間で、特許の維持管理体制

出願体制

知的財産の運用方針、職務発明の取扱い(規定)

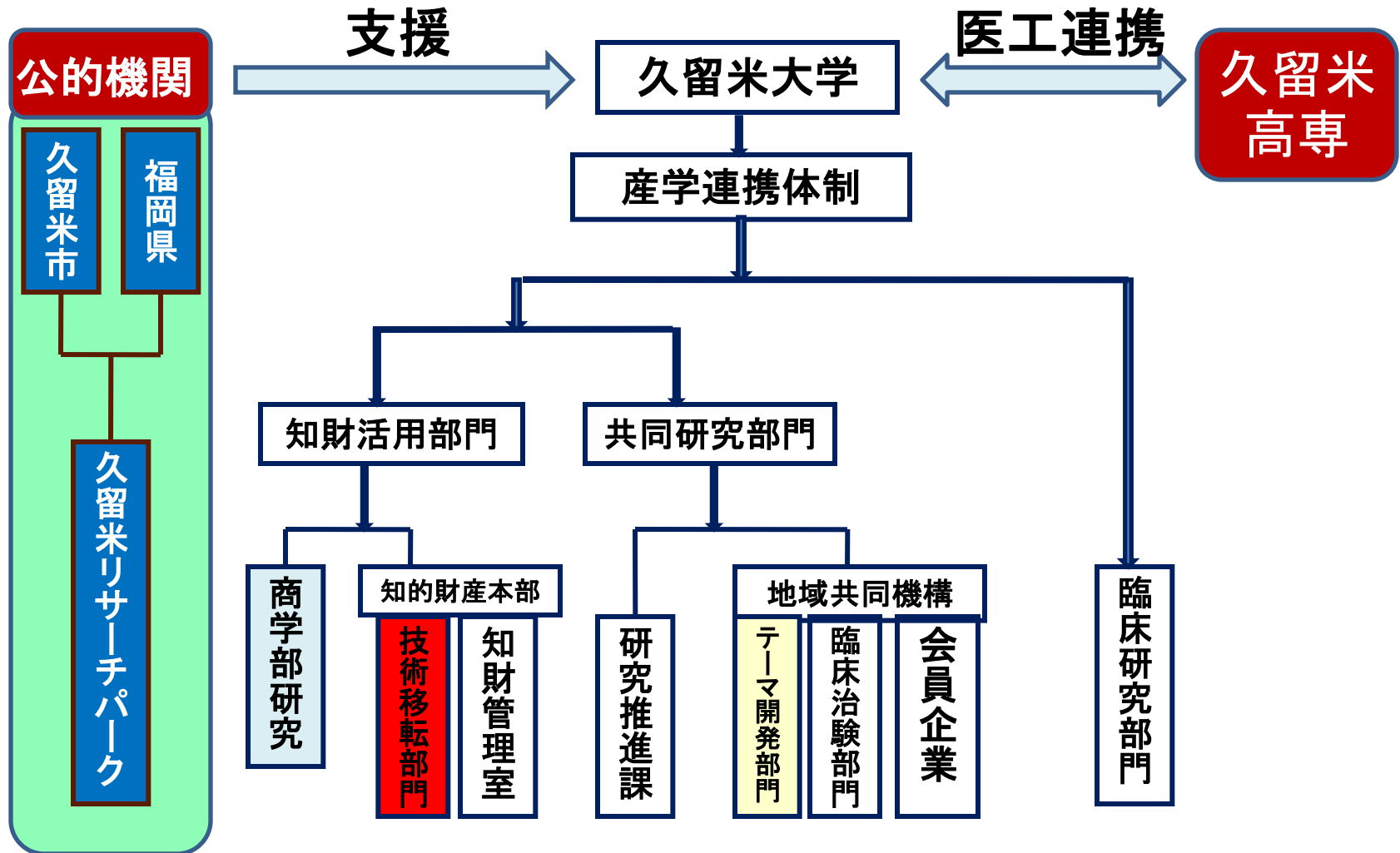
知的財産に係る理念(知的財産ポリシー)

等の知財本部の組織整備は完了

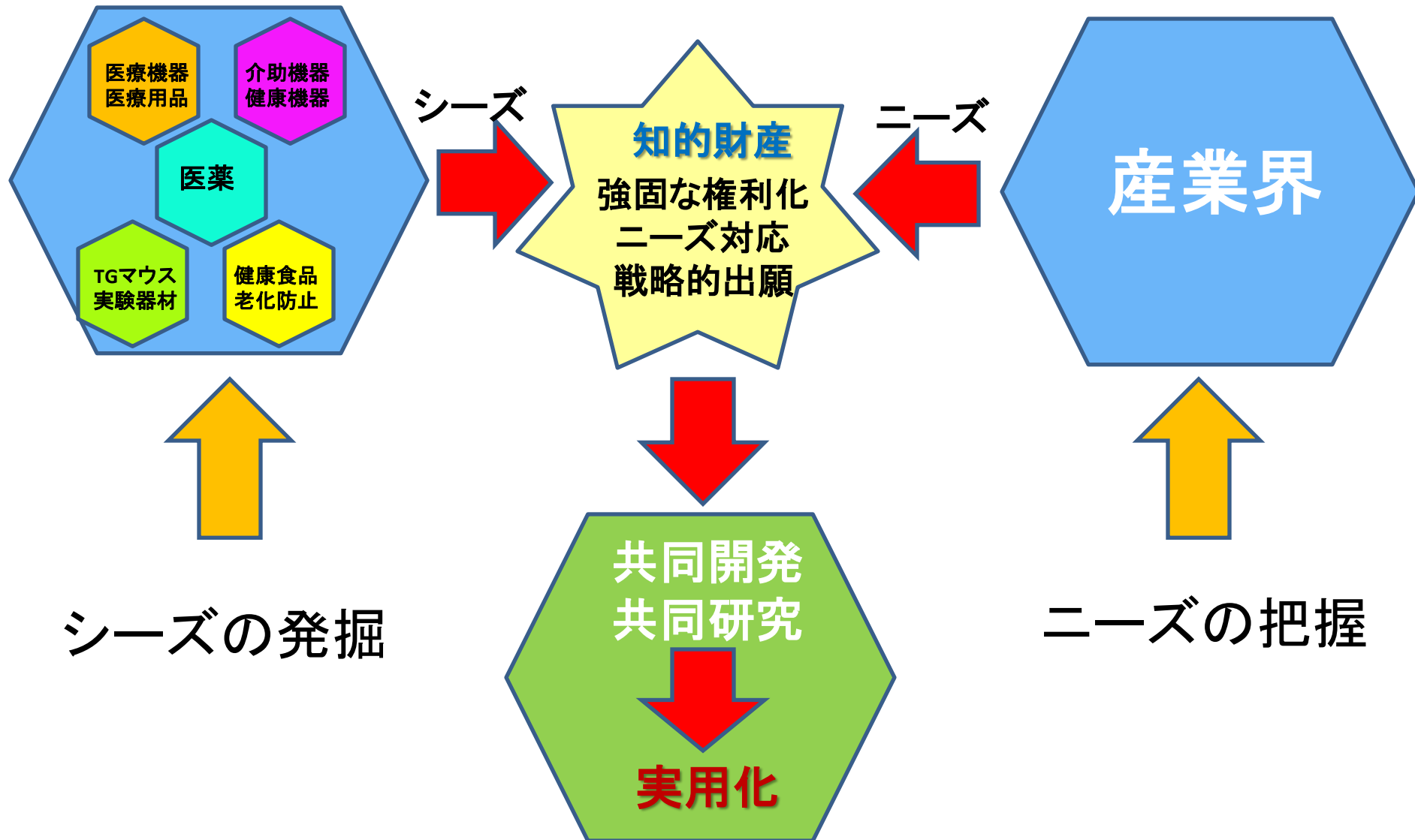
2) 知的財産本部の課せられた、職務(今後の展開) (文部科学省の補助事業を活用して以下の項目を重点化)

- ① より実用化(産業利用)される、知的財産(特許)の創出
学内シーズの発掘と、産業ニーズに適合した、知的財産(特許)の創出
- ② 医工連携の推進による、幅広い適用を目指した知的財産(特許)の創出
- ③ 特許を軸とした、共同研究・受託研究の強化による、研究原資の基盤強化
- ④ 積極的な技術移転活動の推進
- ⑤ 知的財産ビジネス専門家の育成・強化

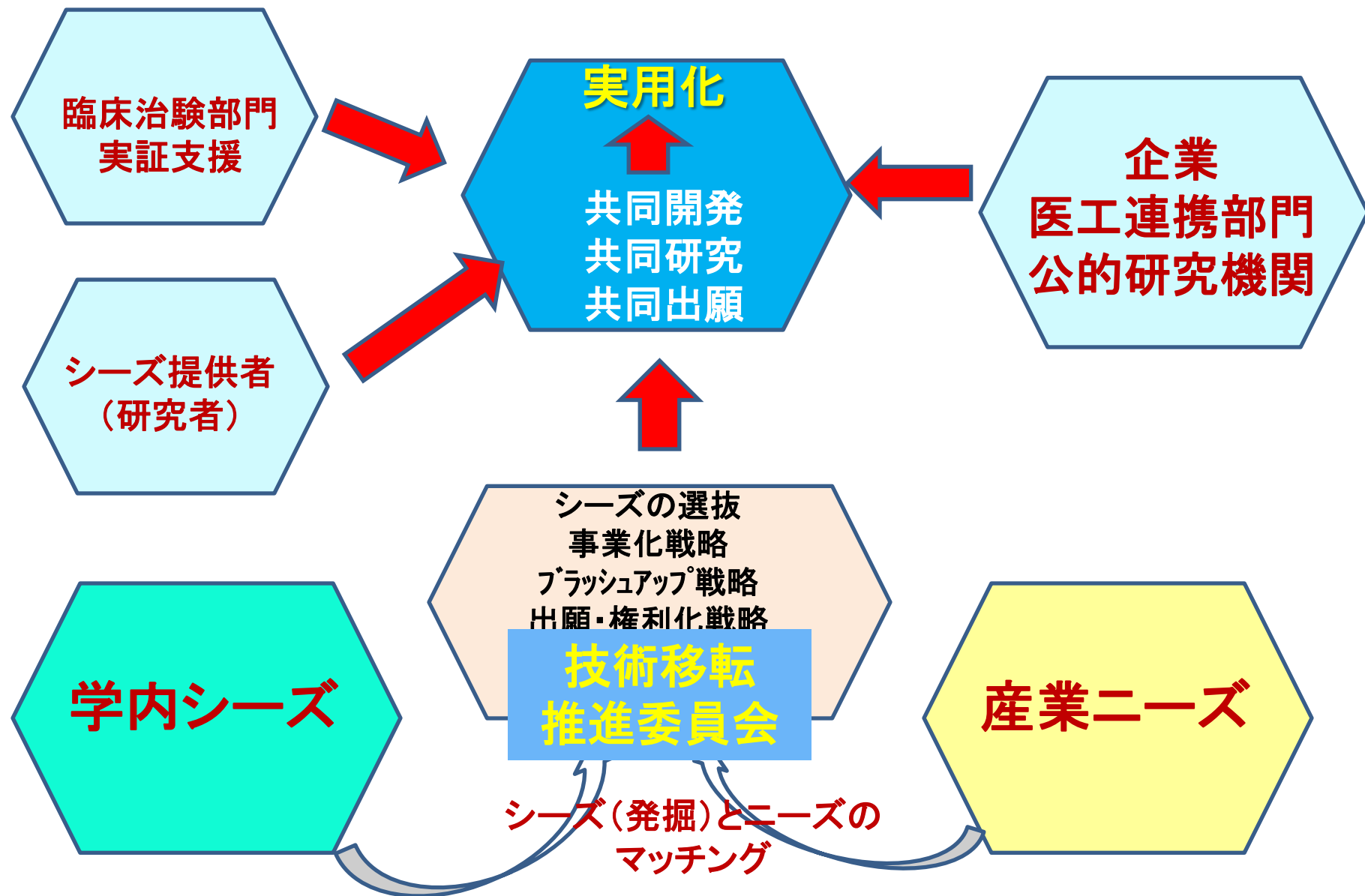
久留米大学 研究開発体制



より実用化(産業利用)される、知的財産(特許)の創出



より実用化(産業利用)される、知的財産(特許)の創出



技術移転推進委員会

技術移転

特許出願

共同研究

技術移転
事業化

特許出願戦略
事業化戦略
共同研究体制

技術移転
推進委員会

シーズ・テーマ提供者

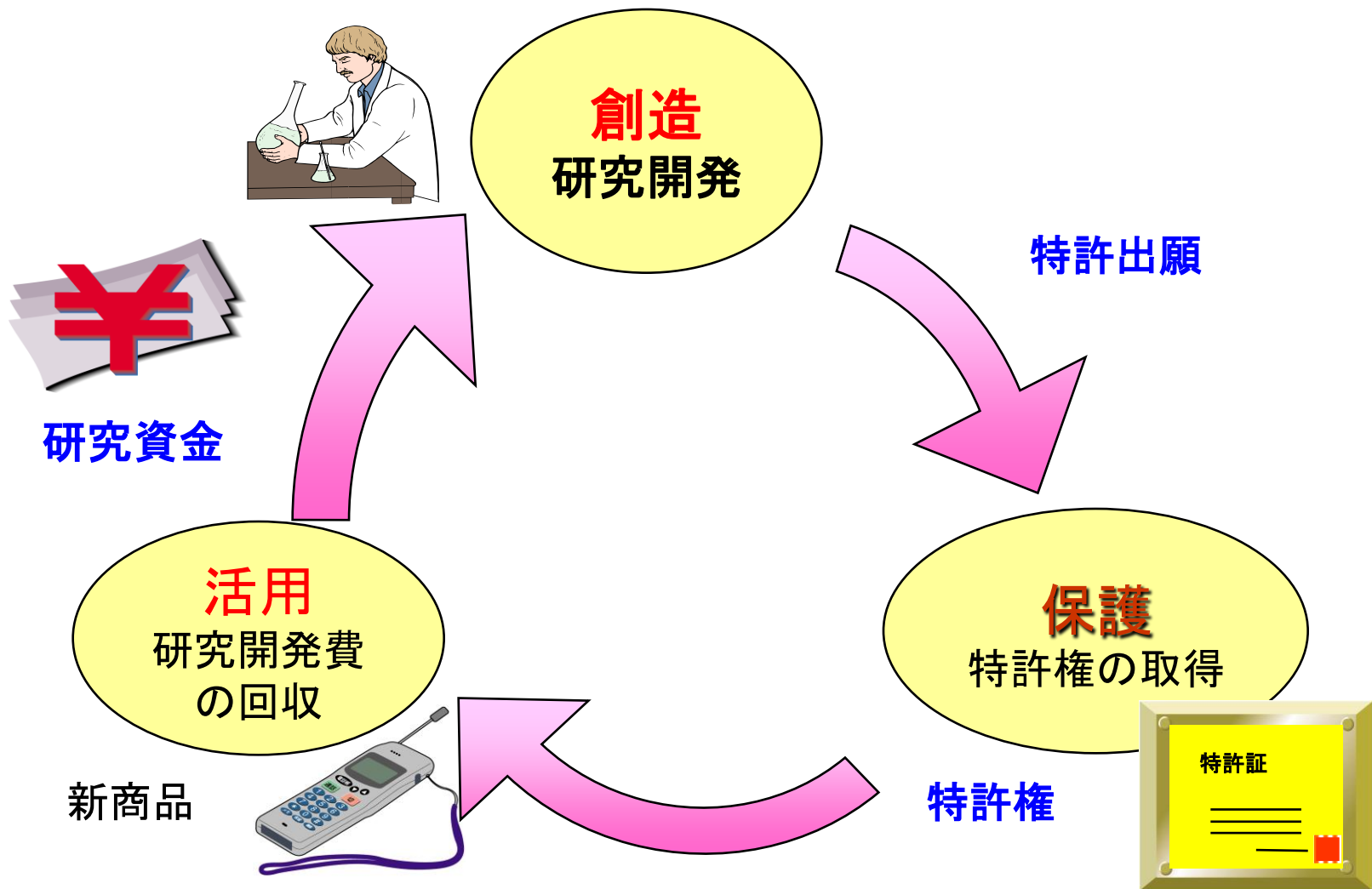
公的機関委員

企業委員

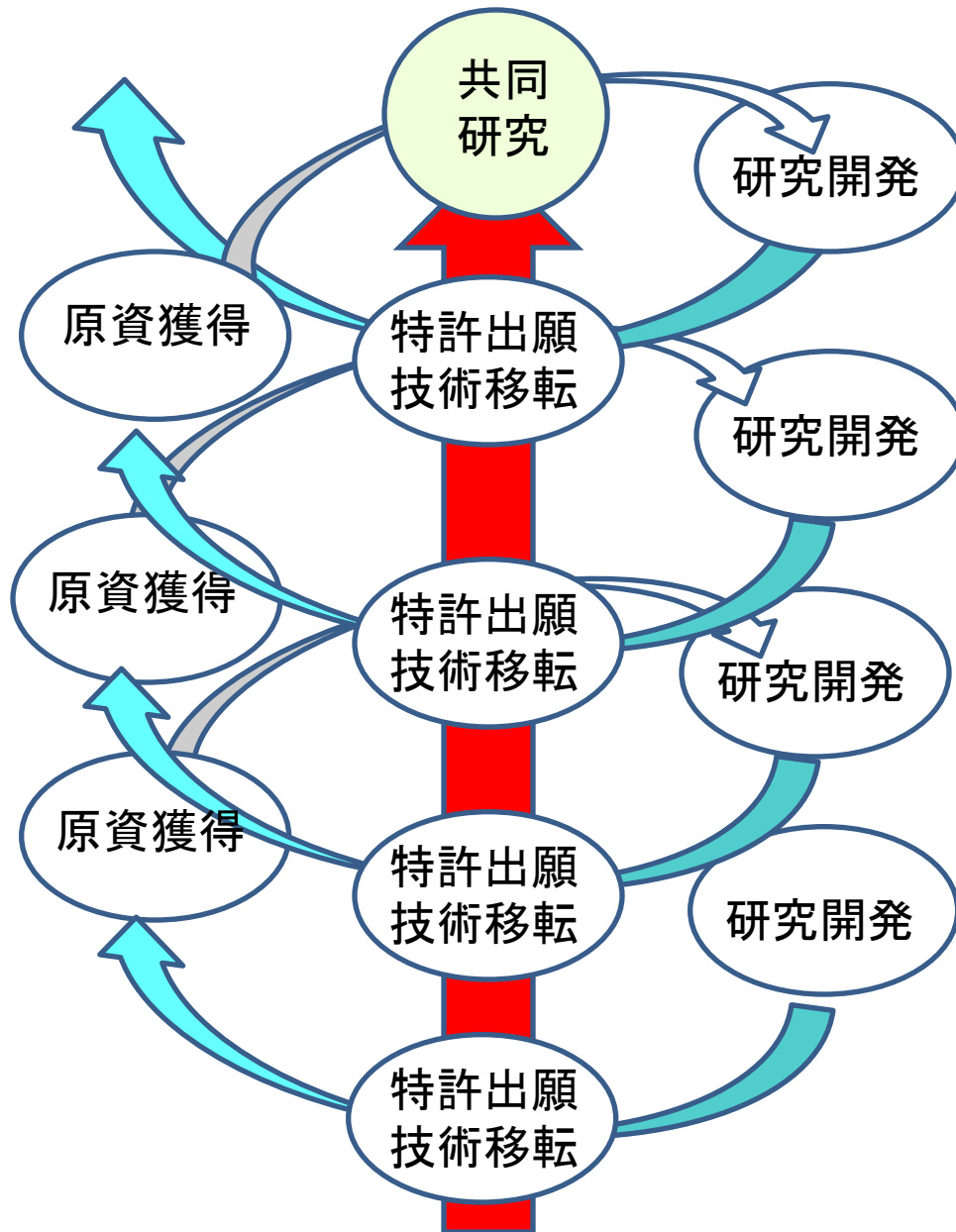
一般有識者

シーズ・テーマ提供者

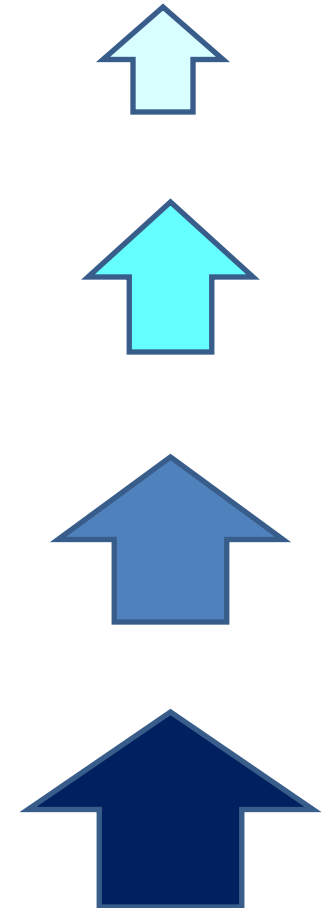
知的創造サイクル



知的創造サイクルはスパイラル

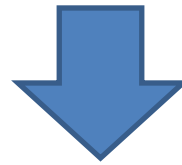


持続的发展



本年度の重点活動

1. 本学研究者の知財(特許)出願への関心度の向上
2. 本学研究シーズの広範な収集と学外(産業界)への紹介
3. 本学シーズと産業ニーズをマッチングさせた特許出願



4. 産業界との接点の拡大・公的資金活用の拡大戦略構築



5. 産業界との共同研究による実用化の推進
6. バイオベンチャーとの共同開発による実用化への橋渡し

より効果的な特許出願を目指して

知財本部からのお願い

こんな時は、知財本部に連絡を



発見・アイデア

- 1) 面白い現象が見つかった
- 2) アイデアが閃いた
- 3) 実験方法を改良した
- 4) 意外な薬理効果を見つけた
- 5) 実験動物を作った
- 6) 学会発表を申し込む前
- 7) 論文投稿を決めたとき

知財本部に電話連絡をください!!

☎ 内線 2050

知財本部員は、すぐに先生の所に駆けつけます。発見・アイデアの特許出願のご相談をいたします。

知財本部メンバー紹介

本部長 薬師寺道明(学長)
副本部長 児島将康(教授)

シーズ収集
担当

志水秀樹

竹藤陽子

総括

有馬彰博

小河和弘

出願・技術
紹介担当

商学部

井上 薫

儀間太一

梶原克彦